

2017年6月30日(金)

未来への扉

高等特別支援学校 支援部 第97号



衣替え、これもスキル

暑くなってきました。学校では今週の月曜日から“衣替え”になっており、全員が半袖の夏服となっています。

暑がり、寒がり、いろいろな生徒がいます。卒業した生徒達も含め、今まで「こんな暑いのに、そんなブレザー着ている人見たら、こっちが熱出そうやわ。」「こんなに寒いのに、そんな半袖を着ている人見たら、こっちが風邪ひきそうやわ。」と何度言ったことでしょう。

先週までの移行の合服期間中にさっさとポロシャツにした生徒から、最後までブレザーを着ていた生徒もいます。人の体感温度って様々ですね。

その中で、急な温度変化は気付くけれども、少しずつの温度変化を体感で“変化なし”と感じてしまう人もいたり、変化が苦手なので変えるタイミングを決めてもらった方がいい人もいます。体感で気温変化が感じにくく服装の調節ができないと、体だけが寒暖のダメージを受けます。

「自分の体、温度変化に鈍感やな」と感じたら、この学校にいる間に、実践できそうな服装の調節方法を考えてほしいと思います。自分で半袖か、長袖か、何枚着るかを決めることはとても大事です。オススメは“周囲の人と同じような服装をする事”ですが、もちろん気温で決める事も考えられます。

“衣替え”は服装を整えるライフスキルでもありますが、周囲に違和感を感じさせない服装と考えると、ソーシャルスキルにも当たります。学校は“衣替えの決まり”がありますが、ない職場もありますので、今から考えていきたいスキルですね。

うちの先生♪ 校長先生

<◆ゴシック、(ゴシック)はレポーターY>

☆高特の新しい顔、
校長先生にお話しを聞いてみました～☆

◆高校生の頃、将来なりたいたいものはありましたか？

ツアーコンダクターになりたいと思っていました。英語が好きだったので、海外にも行きたいと➔(似合いそうです)ところがね、高校2年生の2学期に入院したんです。(転機が訪れたんですね!) 急性虫垂炎で夜中に緊急入院してね、そこで出会ったんですよ、看護師さんに。とても優しくて本当に天使のようでした♡ 人生は“縁”でつながっていますね。ステキな看護師さんに出会ったおかげで、中学時代にあこがれた保健室の先生のこと思い出して、そして養護教諭(保健室の先生)になりました。それからたくさんの児童生徒に出会い、今は高特でお世話になっています。人生は出会いですね。(はい、高特に着任されたのも“縁”ですね)



◆ここ高特で印象的なことは何ですか？

寄宿舎のある学校は初めてなので、入舎式は初の経験でした。入舎式が入学式同様に大変素晴らしかったですね☆ 舎監長の進行で行われた規律ある雰囲気。新入生も2、3年生も背筋が伸び、「舎生になるぞ」というまなざしで、気持ちに張りを感じられましたね。(気持ち良いスタートが切れたでしょうね)

◆そういえば、九州出身だと聞きましたが…

そうです。中学2年生のときにこちらに引っ越してきました。(関西はどんな印象でしたか?) まず言葉づかいが違うので戸惑ったし、飴のことを「あめちゃん」と呼ぶのはビックリしました。(はい。飴は「あめちゃん」です◎)今はどちらも慣れましたけどね。それから、サービス精神が旺盛で人とながかる力が強いと感じますね。温かい土地柄でパワフルな関西が大好きです。

◆最後に、プライベートでの楽しみは何ですか？

洋裁教室でしょうか。中学に勤めていたときに、ある方の紹介で洋裁教室の先生と出会ったんですよね。それから20年以上も通っています。(もしかして、そのブラウスも手作りですか?)はい、そうです。(ステキ過ぎます!!)月に1度ですが、洋裁教室はホッとする時間で、私の生活の大切な場所ですね。(人生は『出会い』ですね)そう。良い出会いに恵まれました。人と過ごす時間は生きていく限り持てますからね。豊かな時間は人を幸せにしてくれますね*



たなばたにお薦めの絵本

「おこだでませんように」

くすのきしげのり 作・石井 聖岳 絵 小学館

「ぼくは いつも おこられる。
いえでも がっこうでも おこられる。」
から始まる絵本です。

妹のお世話をしようとして失敗して怒られ、友達へ給食をいっぱい入れてあげて怒られて……。

エネルギーで優しいんやけど、不器用で口ベタな男の子のお話です。

「ぼくは……『わるいこ』なんやろうか……」
と悩む男の子に、たなばたにステキなことがおこります。

この絵本はひらがなで書かれていて、小学校低学年向けの本のように見えますが、実に大人向けの絵本です。

特に「小さい頃はやんちゃすぎて大変でした。」
と思っている保護者の方に読んでほしい、昔を思い出してジーンとくる一冊です。

